

公益財団法人 日本サッカー協会
2020年度 第12回理事会

2020年11月19日(木)

決議事項

1. 2021年度 9地域サッカー協会向け補助金 交付の件

(決議) 資料1

「2021年度 9地域 FA 一括補助金交付要項」に基づき、9地域サッカー協会に対して以下の通り、補助金を交付したい。

(1) 上限額(暫定額)について

合計額：341,205,000円

(2) 交付要項における、前年度からの変更点について

変更点①算出根拠の変更

1. 高円宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ
2. 高円宮杯 JFA 全日本 U-15 サッカー選手権大会(プレーオフ)

変更点②充当必須事業の追加

以下の事業を充当必須事業として追加

1. JFA U-12 ガールズゲーム(強化育成関連)
2. トレセン/地域リーグ支援(強化育成関連)

変更点③会計セルフチェックの実施を導入する

目的：サッカーファミリーの信頼・期待に応えるための、健全な組織運営と管理体制の実現を目指す

※以下の理事は特別利害関係にあたるため、本議案の議決に加わることはできない。

石井 肇	理事	(公益財団法人北海道サッカー協会専務理事)
櫻井 覚	理事	(一般社団法人東北サッカー協会専務理事)
林 義規	副会長	(一般社団法人関東サッカー協会会長)
植田 昌利	常務理事	(一般社団法人関東サッカー協会専務理事)
渡邊 滋	理事	(一般社団法人北信越サッカー協会専務理事)
徳田 康	理事	(一般社団法人東海サッカー協会専務理事)
田中 克紀	理事	(一般社団法人関西サッカー協会専務理事)
宗政 潤一郎	理事	(一般社団法人中国サッカー協会専務理事)
矢間 雅司	理事	(一般社団法人四国サッカー協会専務理事)
竹田 孝	理事	(一般社団法人九州サッカー協会専務理事)

2. 2021年度 47都道府県サッカー協会向け補助金 交付の件

(決議) 資料2

「2021年度 47FA 一括補助金交付要項」に基づき、47都道府県サッカー協会(47FA)に対して以下の通り、47FA 一括補助金を交付したい。

(1) 限度額について

総額：2,435,882,347円

- ・地域特性特別補助(20百万円)、JYDキッズ巡回指導期初確定額(約32百万円)を含む

(2) 交付要項における、前年度からの変更点

変更点① 充当必須事業の追加

…登録拡大推進事業（仮称）追加

目的：登録拡大のテーマにおいて、事業の計画・運営・評価というサイクルを促し、各 FA の効果的な取り組みを促進する

変更点② 会計セルフチェックの実施を導入する

目的：サッカーファミリーの信頼・期待に応えるための、健全な組織運営と管理体制の実現を目指す

※以下の理事は特別利害関係にあたるため、本議案の議決に加わることはできない。

石井 肇	理事	(公益財団法人北海道サッカー協会専務理事)
櫻井 覚	理事	(一般社団法人宮城県サッカー協会副会長)
山岸 佐知子	理事	(公益社団法人千葉県サッカー協会理事)
林 義規	副会長	(公益財団法人東京都サッカー協会会長)
植田 昌利	常務理事	(公益財団法人東京都サッカー協会副会長兼専務理事)
渡邊 滋	理事	(一般社団法人新潟県サッカー協会副会長兼専務理事)
徳田 康	理事	(公益財団法人愛知県サッカー協会専務理事)
田中 克紀	理事	(一般社団法人和歌山県サッカー協会専務理事)
池田 洋二	常務理事	(一般社団法人鳥取県サッカー協会会長)
宗政 潤一郎	理事	(公益財団法人広島県サッカー協会副会長兼専務理事)
矢間 雅司	理事	(一般社団法人徳島県サッカー協会専務理事)

3. フィジカルフィットネスライセンス新設の件

(決議) 資料3

- ① フィジカルフィットネスライセンス（フィジカルフィットネス A/B/C 級コーチ養成講習会）の新設
- ② 2021 年度フィジカルフィットネス C 級コーチ養成講習会の実施
※添付概要参照

【2021 年度フィジカルフィットネス C 級コーチ養成講習会の実施について】

・ 20 名×4 コース

【目的】

JFA の約束 2050 や JFA の目標 2030 を達成するため、技術委員会では、フィジカルフィットネスプロジェクトを中心に、世界で戦えるフィジカルの構築、個人の特性にあったフィジカル要素の向上を目指している。日本人選手のフィジカルパフォーマンスのさらなる向上に向け、フィジカルの知識を持った指導者およびフィジカルコーチの養成のため、フィジカルの指導者ライセンス（付加ライセンス）を新設し、指導者がサッカーにおけるフィジカルの知識を学ぶ機会や仕組みを整える。

【これまでの課題】

世界で戦える日本人のフィジカルフィットネス構築の重要性が高まる中、特に育成年代においては、その重要性を理解し正しい知識を持って適切に指導できる指導者が少なく、傷害予防や育成年代を中心とした選手のフィジカルの土台づくりに課題があった。

専門的なライセンス講習会としてはこれまで、AFC フィットネスコーチングコースを定期的に開催してきたが、上位ライセンスであるために多くの受講が見込めず、これまでの資格取得者も40名程度にとどまっている。その結果、知識の拡散がなされていない。また、インストラクター養成を AFC がコントロールしているためコース数を増やすことも困難であった。

【今後のスケジュール】

2022 年度以降、順次 B 級、A 級を立ち上げる。

フィジカルライセンス講習会実施およびフィジカルライセンス保持者登録が行えるよう KICKOFF の改修を検討中。

※技術委員会（10/21）において決議済

4. 「女子プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」新設及び関連規則改正の件

（決議）資料4①②③④⑤

2021 年 9 月開幕予定の日本女子プロサッカーリーグ（WE リーグ）の概要・方針が 2020 年 10 月度理事会にて承認されたことを受け、WE リーグを含む女子のリーグのクラブ及び選手に適用される「女子プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」を新設したい。

<概要>

・以下の通り、原則として主に J リーグ等に適用される現行の「プロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」に準じた制度とする。

① 統一契約制度

現行制度と同様に ABC 契約からなる統一契約制度の導入。A 契約締結条件の対象となる試合を定義する。

② トレーニング費用

12 歳から 22 歳までの育成チームに対し一律年額 25 万円を支払う（WE リーグ及びなでしこリーグのクラブが対象。2 年間は経過措置として年額 15 万円）

③ トレーニングコンペンセーション

WE リーグクラブへの移籍のみを対象とし、年額 200 万円とする。

④ 支度金制度

現行制度と同様に支度金制度を設置する。

⑤ 登録ウインドー適用

WE リーグのみを対象とし登録ウインドー制度を適用する。なお、妊娠や出産等のために活動を中断・再開する選手については登録ウインドー外での登録を許容する。

その他詳細は別添資料の通り。

<施行日> 2021 年 2 月 1 日

なお、トレーニング費用及びトレーニングコンペンセーションについては、FIFA 規則に準じ、名称をトレーニング補償金に統一し、前者を「トレーニング補償金（アマチュアからプロ）」、後者を「トレーニング補償金（プロからプロ）」に変更する。

これに伴い、以下の規則の該当部分を別添資料の通り、修正する。

- ・プロサッカー選手の契約、登録及び移籍に関する規則
- ・サッカー選手の登録と移籍等に関する規則
- ・仲介人に関する規則

5. アンチ・ドーピング規程改正の件

(決議) 資料5

FIFA アンチ・ドーピング規程の改定に伴い、FIFA より各国サッカー協会のアンチ・ドーピング規程について以下の件を明示するよう要請があったことから次のように追記したい。

アンチ・ドーピング規程

【新設】

第1条の5〔FIFA 規程の優先〕

日本規程と FIFA 規程との間に齟齬が存在する場合には、FIFA 規程を優先する。

※日本規程とは公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構の定める日本アンチ・ドーピング規程、FIFA 規程とは FIFA の定める F I F A アンチ・ドーピング規程を指す。(第1条の4〔世界アンチ・ドーピング規程〕1.)

6. ユニフォーム規程改正の件

(決議) 資料6

2020年3月14日の理事会で決議した「選手の用具に関する運用緩和」に則り、ユニフォーム規程を改正したい。

改正箇所は別添資料の通り。